

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	経過観察中に破裂した脳動静脈奇形についての単施設後方視的研究 (B22-066)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部脳神経外科学 診療講師 山本大輔
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	脳動静脈奇形(AVM)の治療には外科的切除術、血管内治療、放射線治療が選択肢となりますが、専門的で高度な技量を要し、未だに治療困難な疾患の1つである。各病変に対してどの治療を最初に行うべきか、外科的切除や定位放射線治療を行う前に血管内治療を行うべきかなど施設ごとに各治療の単独または複合治療が検討され行われています。そこで、当院で経過観察中に破裂した AVM の臨床学的特徴を検討し治療介入方法を再考することで、未破裂 AVM に対する治療介入方法の一助としたいと考えています。
調査データ 該当期間	2014年1月1日から2022年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	例) 上記期間内に当院で脳動静脈奇形の治療をされた方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2014年1月1日から2022年3月31日までの紙カルテ・電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	北里単施設研究であり、他の研究機関へ情報提供は行われません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を決して同定できないようにいたします。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。本研究の遂行のための費用は脳神経外科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

所属・職位:北里大学医学部脳神経外科・診療講師
担当者:山本大輔(ヤマモトダイスケ)
電話:042-778-8111

備 考